

# 多様な資源を活用し、 より良い家畜と畜産物を創出



研究者	農学部	附属農場	
	名前	林 義明	准教授
		HAYASHI YOSHIAKI	
専門分野	畜産、家畜飼養学		

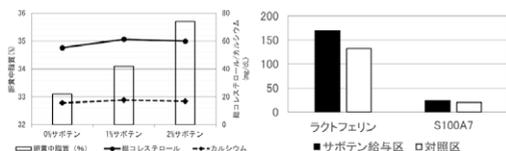
主な経歴	青年海外協力隊(家畜飼育, フィリピン) 袖ヶ浦酪農ヘルパー利用組合 国際協力機構(JICA)専門家(マラウイ) 博士(農学)(広島大学)
所属学会	日本畜産学会、日本家禽学会、 日本山羊研究会、東海畜産学会、 International Goat Association



キーワード	ウシ、スイギュウ、ヤギ、家禽、未利用資源、生産、加工、環境、熱帯地域、開発途上国
-------	--

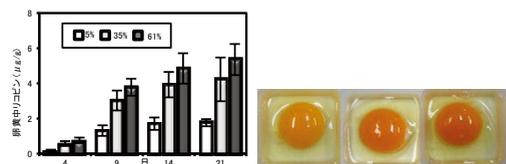
## サボテンの飼料としての活用

- ・サボテン粉末の給与が名古屋コーチンの産卵性、卵質、免疫能に及ぼす影響
  - ・産卵性、卵黄中の総脂質、血漿中の総コレステロール、カルシウムを増加させる傾向
  - ・免疫能に悪影響なし
- ・サボテン(生・乾燥)の給与がヤギの乳生産性、乳質、抗酸化能に及ぼす影響
  - ・乳中の抗菌因子であるラクトフェリンやS100A7を増加させる可能性
  - ・乳生産性や抗酸化能に悪影響なし



## 人間にとって高利用性のカロテノイドを多く含む鶏卵の開発

- ・異性体比率が異なるカロテノイドを含む飼料給与が採卵鶏の産卵性、卵質、卵黄中カロテノイドに及ぼす影響
  - ・リコピン/アスタキサンチン(Ax)のシス型異性体比率の高い飼料給与
    - 産卵性に悪影響なし、卵黄中リコピン/Ax濃度、卵黄中リコピン/Axのシス型異性体比率の増加、卵黄色の向上



## 畜産物の生産振興を目指したヤギの活用

- ・放牧飼養による乳用ヤギの乳生産性と血液性状の推移
  - ・夏季での乳脂肪低下と秋季以降での乳タンパク質増加
  - ・夏季以降での乳中のカルシウムとナトリウムの増加
  - ・給与飼料の変化による血漿中の尿素窒素の変化
- ・ヤギ糞堆肥の成分と性状の明示
  - ・同様の飼料給与した牛糞堆肥に比べて窒素、カルシウムの含量が高い傾向
- ・ヤギ乳による特色ある畜産物の創出
  - ・異なる条件によるヤギ乳チーズの作製
  - ・ヤギ乳チーズの成分と物性の経時的変化の明示



## 熱帯地域や開発途上国での未利用資源の飼料としての活用

- ・フィリピン、ネパール、タイでの未利用飼料資源の成分と消化性の解明
  - ・反芻家畜の生産に有効な資源の探索
  - ・異なる季節での成分と消化性の変化の明示
- ・未利用資源の給与がウシ、スイギュウ、ヤギの生産性に及ぼす影響
  - ・フィールドピーヤトウモロコシサイレージの給与による乳生産性向上
  - ・インディゴフェラの給与による成長促進の可能性



企業・自治体等の方へ  
コメント・メッセージ

農業分野に限らず、畜産と連携可能な分野との共同研究を行っています。  
未利用資源を含めた多様な資源を用いて、家畜や畜産物への未知の効果を解明できる可能性があります。